

祝

辞

四囲の山々もすっかり春めいて来た今日の佳き日に、山村学園短期大学に入学されました学生並びに保護者の皆様方に、学校法人山村学園を代表しまして心よりお祝いを申し上げます。「おめでとうございます」

三月十一日に東北・関東大地震が発生しました。丁度当短期大学の卒業証書・学位記授与式のひであり、晴れ晴れとした笑顔で出発していた学生姿を見た後だけに、より大きな衝撃を受けました。今同じ会場に晴々とした姿でおられます入学生にまず一言伝えます。あの地震・津波で一瞬にして生命を失わ

れた人々が多くいます。もちろん皆様方と同世代の人も含まれます。皆様方は生きています。夢も持っています。将来もあります。友達と過ごす楽しいときもあります。苦しい時もあります。ですが、それも生きている証です。生きている事を喜びとし大事に生きてください。しかしあの大地震・津波の後の福島原子力発電所の事故後、東京電力の計画停電、物流の悪化、エネルギーの不足、生産活動の停滞、食品の安全等、今迄の日常と異なる非日常の中で、学生として求められる日常生活を送って行かねばなりません。

そんな皆様の一つの言葉を贈り、学生生活を送る参考にしていただきたいと思います。

明治の文豪二葉亭四迷の本の中にあつた「樹

木の亭々として繁るは、それに過等する根がある故なり」です。「樹が大きく枝を張り、青々と葉を繁らせ、大地に堂々と立っていられるのは、目に見える地上部に等しいか、それ以上の量の根を目に見えない土の中に張っているからだ」と言う意味です。大きな根を持つてば大きな樹になれる。少しの根しか持たねば小さい木でしかないと言うことです。だったら大きな根を持つてください。この芙蓉館の周囲には種々の木がありますが、その根の事を想像して下さい。

大きな根を作るためには、第一に目標と前向きな気持ち・物事に対する関心を持って下さい。学問の府である山村学園短期大学で学ぶことが楽しくなります。第二は時間を大切に

して下さい。二年間はアツという間に過ぎて
しまいます。第三は何かに打ち込んで下さい。
集中することは色々な事を想像する原動力に
なります。第四は本を沢山読んで下さい。多
くの知識を得ることが出来ます。第五は多く
の人と話し合ってください。電子機器の媒体を
通してではなく自分の口と耳を使って話をし
て下さい。相手の気持ち・心が解る様になりま
す。根の大きさが入学生一人一人の個性を創
る礎になると思います。この二年間で素晴ら
しい根を育てて下さい。

平成二十三年四月一日

山村学園 理事長 岡 實